



高校生たちと一緒に考える国際理解オンライン講座

被爆者の空白の10年

ゲストスピーカー

清水 弘士 広島平和資料館・被爆体験証言者



プロフィール

1945年8月6日午前8時15分アメリカ軍が広島市に対して世界で初めて原子爆弾「リトルボーイ」を実戦使用した際、爆心地から1.6km地点で3歳の時に被爆する。

2011年3月東日本大震災と福島原発事故に襲われた現地の姿は私が体験した原子砂漠そのものだった。これに衝撃を受け、被爆者としてできる活動として自分の原子爆弾の被害を伝える証言を始める。

2014年から広島県原爆被害者団体協議会事務局長、日本原水爆被害者団体協議会代表理事を歴任。

2018年から広島平和文化センターに委嘱されて広島平和記念資料館で被爆体験証言をはじめ。

広島・長崎の原爆被害者は、なんの支援もなく戦後10年間放置された。この信じ難い歴史的事実が「被爆者の空白の10年」といわれる。この結果、支援があれば助かったであろう多くの命が失われた。戦争とはどういうものか、歴史の中から教訓を学びとり、今を生きる糧としてほしい。

日時:2021年6月5日(土)15:30~

※土曜日は予定がつかず、再放送希望の方は、コメント欄に「土曜日に録画視聴を希望します」と申込み下さい。翌週土曜15:30~対応します。

場所:みなさんの自宅 ※ 高校生→無料 お友達を誘ってね!
社会人→500円~ドネーションチケットあり

申込先:<https://earthwalkers.jp/>



QRコードから申込